

**第24回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技
茨城県大会結果速報(初日女子第一試合)**

平成17年7月30日

【Aコート10時50分開始】 女子Aブロック第一試合

水戸笠原	38	10	VS	2	16	明治
		12		0		
茨城B		8		6		神奈川
		8		8		

1Q 笠原マンツーマン、明治ゾーンディフェンスで入る、お互いにインサイドを攻め切れない、終盤笠原が速攻・ゴール下で確実に加点し8点リードでQ終了。

2Q 明治マンツーマンへ切替え流れを変えに掛かるも点差が拡がりタイムアウト、再びゾーンに戻す明治、笠原は固いディフェンスで2Q明治を無得点に抑える。

3Q 後半に入り明治この試合初のフィールドゴールを決め更に追い上げを図る、笠原もゴール下、ミドルで反攻、更に点差を拡げ最終Qへ。

4Q 明治メンバーチェンジでセンターを生かすも得点に繋がらない、終盤両チームともメンバーを入換え選手に経験を積ませる、2点差にて笠原が勝利。

総評 笠原の硬いデフェンスに対し、明治は持ち味を発揮出来ず序盤でゲームが決まってしまった。

(戦評) 高柳 敏範

【Bコート10時50分開始】 女子Bブロック第一試合

青葉小	45	4	VS	10	36	桐生神明
		18		8		
東京		13		10		群馬
		10		8		

1Q お互いゾーンディフェンスでスタート、桐生神明の速いパス回しからを中心に得点を重ねる、青葉小はリズムに乗れずに得点が伸びない。

2Q 青葉小プレス、桐生神明ゾーンでスタート、青葉小がスティールから次々と得点を重ね逆転、桐生神明はボール運びに苦しみハーフコートオフェンスに持ち込めない、前半22-18で青葉小のリードで後半へ。

3Q 青葉小は変則的なゾーンでインサイドを固める、桐生神明はゾーンの隙間をついて加点、青葉小はアウトサイドシュートを確実に決め、お互い点の取り合いになる。

4Q お互いにオールコートでディフェンスを頑張る、青葉小のロングシュートの確立が高く、じりじりと点差が開く、桐生神明もゴール下のシュートで加点するも、アウトサイドシュートの確立が悪く追いつけなかった。

総評 青葉小のアウトサイドシュートの確立の高さが印象的、桐生神明は高さを生かしきれなかったのが残念、両チームとも変化のあるディフェンス、力強いオフェンスと見応えのある好ゲームだった。

(戦評) 佐々木 剛

【Cコート10時50分開始】 女子Cブロック第一試合

久賀	57	22	VS	4	29	大和田
		10		12		
茨城A		12		9		埼玉
		13		4		

1Q 久賀プレス、大和田マンツーマンでゲームが始まる、大和田、緊張からか久賀のプレスに対しオフェンスミスが出る、久賀のシュートが決まり点差を広げ、久賀ペースのまま1Q終了。

2Q 大和田オフェンスリバウンドが取れずリズムに乗れない、久賀もインサイドを押さえられリズムに乗れず、お互い点数が伸びない、大和田残り2分で積極的なディフェンスで点差を縮める。

3Q 互いにマンツーマンでゲームが始まる、久賀を中心に着実に得点を積み重ねていく、対する大和田は、のシュートを入れるが、前半の差は縮まらず3クォータ終了となる。

4Q 久賀マンツーマン、大和田プレスで4Qが始まる、大和田、点差をつめるため積極的にボールをうばいに行くも逆に久賀の速攻が決まり点差が広がりそのままゲーム終了となる。

総評 を中心として攻撃を行う久賀に対し、のシュートで得点を取る大和田の対決だったが、かたさの見られた前半の点差が最後までつめられなかった。

(戦評) 松田 隆